

第2回金融経済教育シンポジウム  
沖縄県の安定的資産形成と、未来を担う世代への金融経済教育の  
充実に向けて－取組み状況と課題－

## 地域に根差した金融経済教育 の推進に向けて

－学校・企業・公民館 身近な場での「学びの場づくり」－

2025年2月2日

金融経済教育推進機構 (J-FLEC)

理事長 安藤 聡

# J-FLEC

金融経済教育推進機構



あんどう さとし

理事長 安藤 聡



生年月日:1955年1月27日

出身:東京都

## <略歴>

- ◆ 1977年慶應義塾大学法学部卒業、(株)東京銀行(現株三菱UFJ銀行)入行、本店営業部・ニューヨーク・大阪支店・人事・日本国債トレーディング・外国債券ポートフォリオ運用・法人営業企画・合併委員会小委員会事務局・検査企画・資産運用企画(副部長)・ジャカルタ支店(支店長)を経て、2007年(株)三菱東京UFJ銀行退職。
- ◆ 2007年オムロン(株)入社、常勤監査役、2011年執行役員経営IR室長、2015年執行役員常務グローバルIR・コーポレートコミュニケーション本部長、2017年6月取締役役に就任、社長指名諮問委員会、人事諮問委員会、報酬諮問委員会 各副委員長、2023年6月オムロン(株)退社。

## <主な公的活動>

(過去)

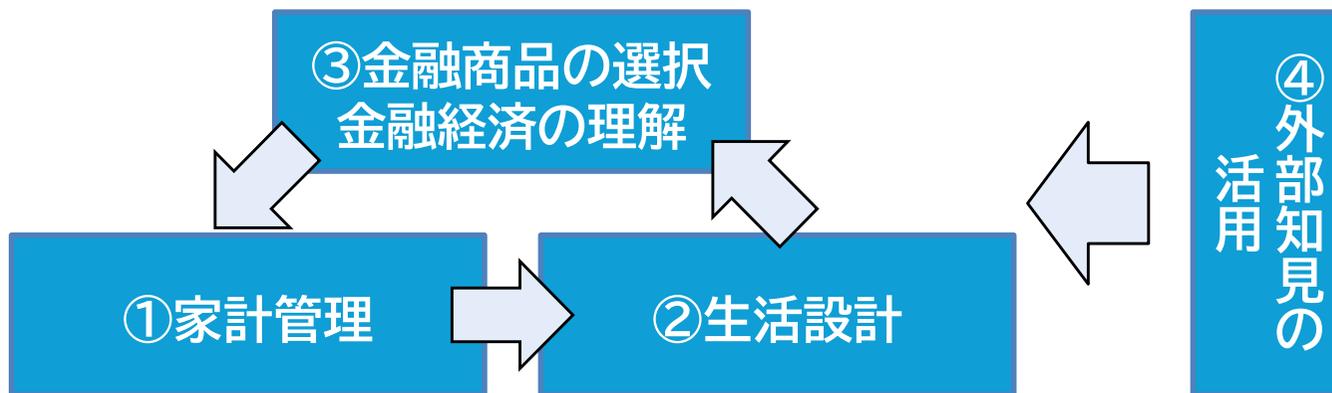
- |            |  |
|------------|--|
| 2014年      | 経済産業省主催研究会「伊藤レポート」委員、2017年「伊藤レポート2.0」委員、「価値協創ガイダンス」策定ワーキンググループに参画。 |
| 2014~2017年 | 国際統合報告評議会(IIRC)主催実務者協議会に参加。  |
| 2016~2019年 | GPIF主催「企業・アセットオーナーフォーラム」企業側代表幹事を務める。                               |
| 2017~2023年 | (公財)国際高等研究所評議員を務める。  |
| 2022~2023年 | 内閣府主催「知財投資・活用戦略の有効な開示及びガバナンス検討会」委員を務める。                            |
| 2022~2024年 | 東京証券取引所主催「市場区分見直しに関するフォローアップ会議」メンバーを務める。                           |



金融経済教育の重要性と  
J-FLECが果たす役割

- 国民一人ひとりが、経済的に自立し、安心かつ豊かな生活を送るためには、家計管理や生活設計といった基本的な金融知識に加え、それぞれのライフプランに合った金融商品・サービスをより適切に選択し、安定的な資産形成を行う必要性を理解するなど、**金融リテラシー(注)**を向上させていくことが重要。

(注)金融リテラシーとは、経済的に自立し、より良い生活を送るために必要な「お金に関する知識や判断力」のこと。



- 金融経済教育を通じて金融リテラシーを高めることは、一人ひとりが描く**ファイナンシャル・ウェルビーイング(注)**の向上に繋がる。

(注)自らの経済状況を管理し、必要な選択をすることによって、現在及び将来にわたって、経済的な観点から一人ひとりが多様な幸せを実現し、安心感を得られている状態。

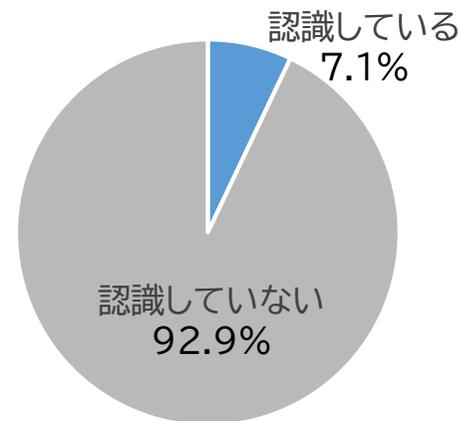


- これまで、政府、金融広報中央委員会、金融関係団体は、学校や職場等において、金融経済教育を実施。
- 但し、課題も存在。
  - 金融経済教育を受けたと認識している人は約7%。
  - 投資詐欺などの被害事案も引き続き散見。
  - 教育の担い手が金融機関・業界団体である場合、受け手（特に、個別企業）から敬遠。



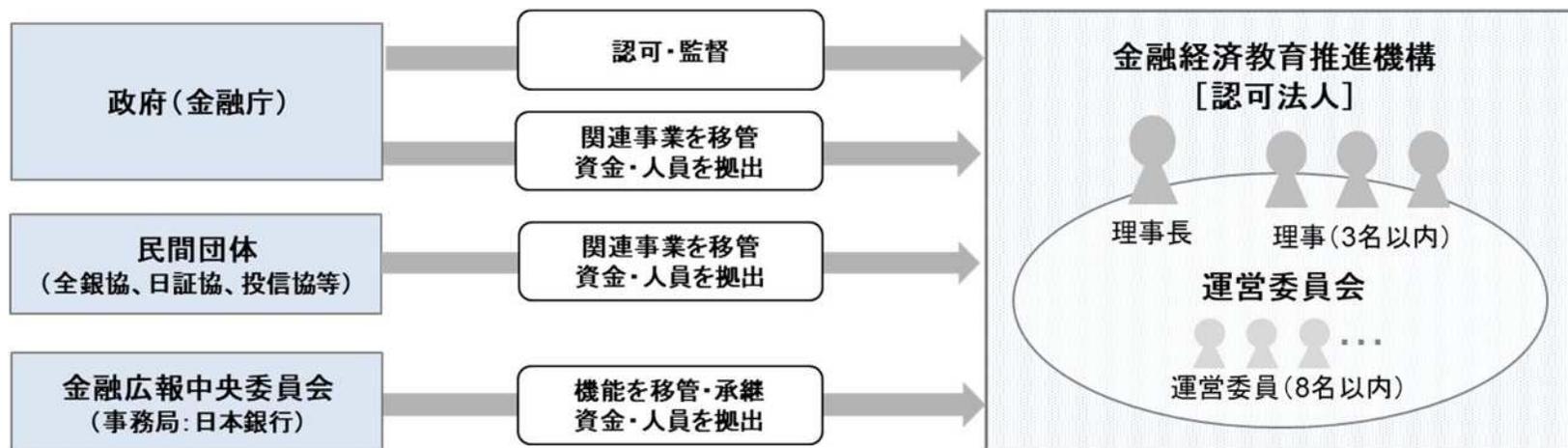
中立公正な教育を、官民一体で国全体に推進する必要。

金融経済教育を受けたと認識



(出所)金融広報中央委員会「金融リテラシー調査(2022年)」より。

金融経済教育推進機構の設立(2024年4月5日)



## 名称

金融経済教育推進機構  
(英)J-FLEC: Japan Financial Literacy and Education Corporation

## 設立

2024年4月5日

## 資本金

10 億 5,729 万 6 千円

政府	:10 億 729 万 6 千円	(5,000万円)
日本銀行	:2,500 万円	(2,500万円)
全国銀行協会	:1,250 万円	(1,250万円)
日本証券業協会	:1,250 万円	(1,250万円)

(注)( )内は、政府による設立にかかる初期費用を除くベース

## 職員数

約70名

## ウェブサイト

<https://www.j-flec.go.jp/>



## J-FLEC公式Xアカウント

[https://x.com/J\\_FLEC?s=09](https://x.com/J_FLEC?s=09)



## 根拠法

金融サービスの提供及び利用環境の整備等に関する法律  
(2024年2月1日施行)

## 目的

適切な金融サービスの利用等に資する金融又は経済に関する知識を習得し、これを活用する能力の育成を図るための教授及び指導(金融経済教育)を推進すること。

## 所在地

室町古河三井ビルディング (コレド室町2)  
東京都中央区日本橋室町2-3-1 9F



## ミッション

私たちは、一人ひとりが描くファイナンシャル・ウェルビーイング<sup>(注)</sup>を実現し、自立的で持続可能な生活を送ることのできる社会づくりに貢献します。

(注)自らの経済状況を管理し、必要な選択をすることによって、現在及び将来にわたって、経済的な観点から一人ひとりが多様な幸せを実現し、安心感を得られている状態。

(国民の安定的な資産形成の支援に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針(令和6年3月15日閣議決定))

## ビジョン

私たちは、金融リテラシーの向上を図るプラットフォームとして、時代の移り変わりと個人の多様性に即した金融経済教育を提供し、いまと未来の暮らしをより良くする金融サービスの活用や資産の形成と活用を支援します。



- ◆ 金融は国民にとって必ずしも親しいイメージを持たれているわけではない点を踏まえ、キャラクター性のあるロゴマークを採用。
- ◆ 子供から大人まで全員に対して優しく、ポジティブな印象を与えるコミュニケーションデザインとしてシンプルな造形ながら刻印が笑顔になっている様を表現。
- ◆ また、数字や記号など幅広いバリエーションで制作可能なため、一貫した優しく、親しみやすいイメージをつくりあげられる汎用性の高いデザインとなっている。

ステップ 講師派遣(出張授業)、イベント・セミナー

1

金融経済教育の機会を提供し、ライフプラン・家計管理・資産形成などの重要性について理解していただく。

J-FLEC  
(J-FLEC講師他)

ステップ 「J-FLECはじめてのマネープラン」無料体験

2

1時間の無料相談体験を通じて、自分自身が取るべき具体的な行動を知っていただく。また、お金に関するアドバイスの価値や意義を認識していただく。

J-FLEC  
(J-FLEC相談員)

ステップ 「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポン

3

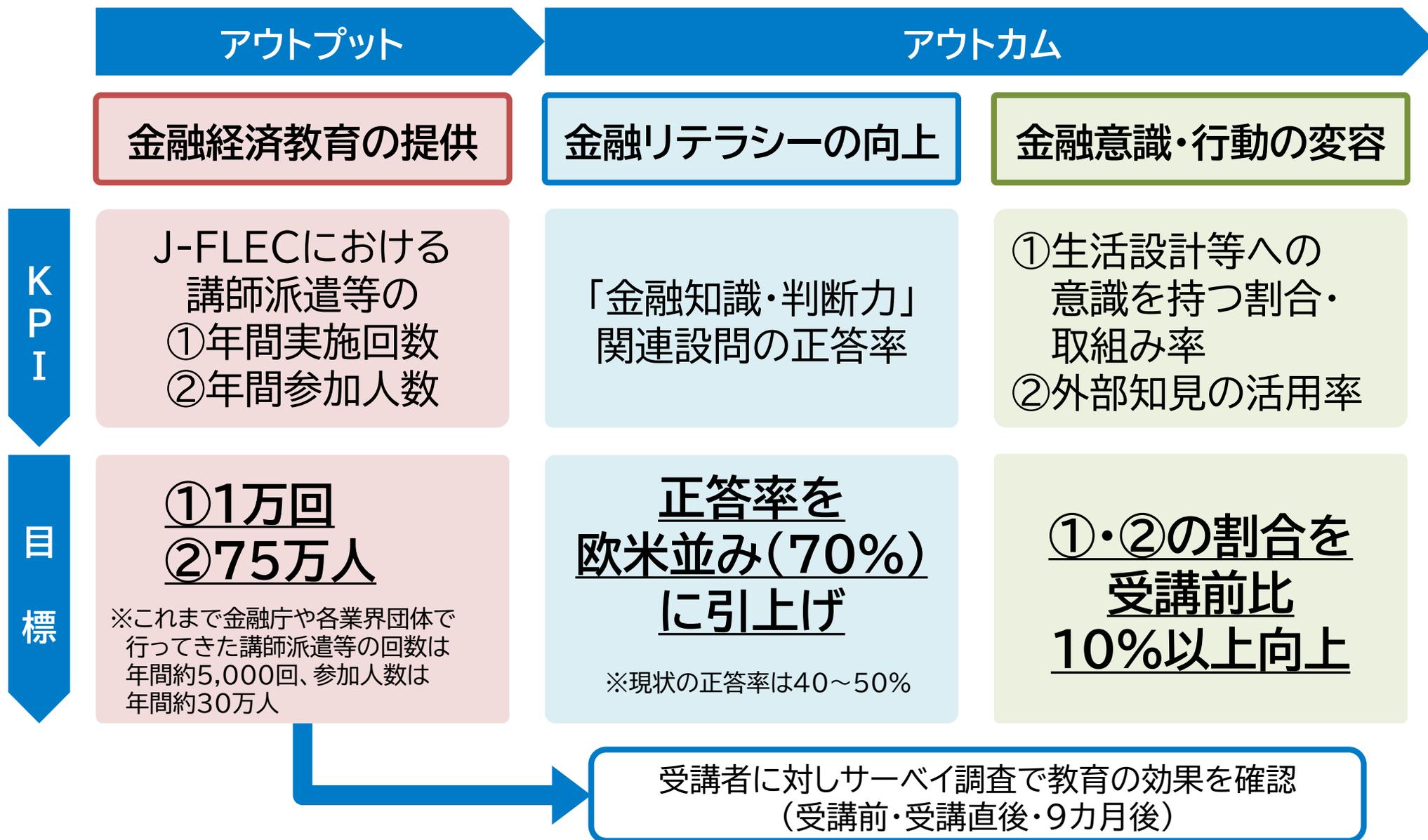
相談料の割引クーポンを配布することによって、実際にお金に関するアドバイスを受けるきっかけとしていただく。そして、自分自身が取るべき具体的な行動についての理解を深めていただく。

クーポン対象事業者  
(J-FLEC認定アドバイザー)

個人の金融意識・  
金融行動の変容

一人ひとりが描くファイナンシャル・  
ウェルビーイングの実現

- J-FLECでは、KPI・目標として、金融経済教育の提供(アウトプット)、金融リテラシーの向上、金融意識・行動の変容(アウトカム)を設定しています。





J-FLEEC認定アドバイザー制度

### 金融庁金融審議会 市場制度ワーキング・グループ 顧客本位タスクフォース 中間報告(2022年12月)

「(略) 家計管理、資金計画、つみたてNISA等の税制優遇制度や年金制度、多様化する金融商品・サービスなどについて、気軽に相談し、継続的に良質なアドバイスを受けられる環境を整備することが重要である。(中略) しかしながら、顧客の立場に立っていると謳いながら、特定の金融事業者や金融商品に偏ったアドバイスが行われているケースが見られる、顧客にとって誰が信頼できるアドバイザーであるかが分からない等の課題も指摘されている。」



## J-FLEC認定アドバイザー制度の創設

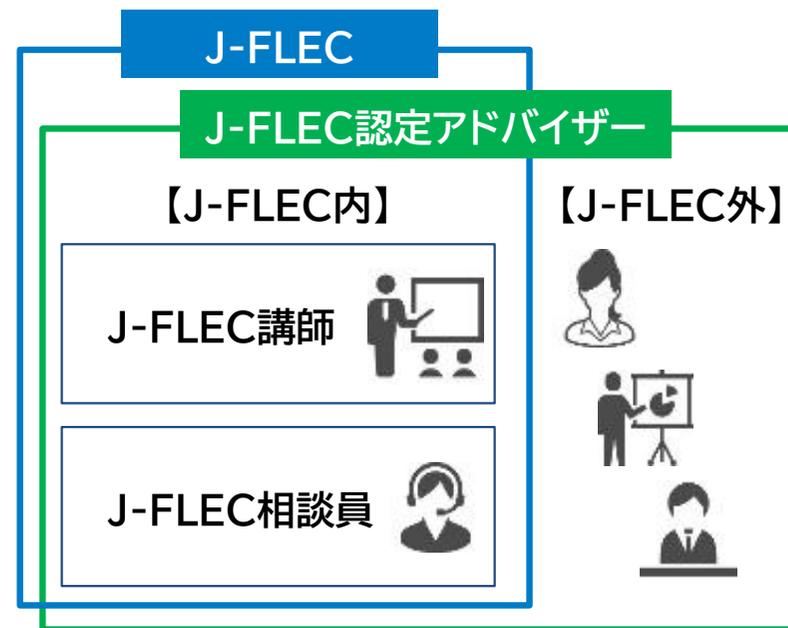
## □ J-FLEC認定アドバイザーとは

J-FLECでは、J-FLECが定める認定要件に合致し所定の審査を通過した個人を、一定の中立性を有する顧客の立場に立ったアドバイザー(「J-FLEC認定アドバイザー」)として認定・公表します。

- ◆ J-FLEC認定アドバイザーは、(i)金融商品の組成・販売等を行う金融機関を兼業していない、(ii)上記金融機関から、顧客に対するアドバイスの信頼性等に影響を及ぼしうる報酬を得ていない、といった要件を満たす必要。
- ◆ J-FLEC認定アドバイザーは、家計管理、生活設計、NISA・iDeCo等の資産形成支援制度、金融商品・サービス、消費生活相談等についてアドバイスを行う者を想定。
- ◆ J-FLECは、**J-FLEC認定アドバイザーの氏名のほか、個人がアドバイスを依頼する際に参考となる情報(保有資格、経歴、得意分野、報酬の目安、自己PR、実際にアドバイスを受けた個人からの評価等)を公表。**

## □ J-FLEC講師・相談員

所定の審査を通過したJ-FLEC認定アドバイザーは、**J-FLECが行う講師派遣(出張授業)の講師、無料相談の相談員業務を行うことが可能**です。



- 2025年1月7日(火)時点で、合計1,144名のJ-FLEC認定アドバイザーを認定済。
- 2024年10月23日(水)より、J-FLECのウェブサイト上において、上記のJ-FLEC認定アドバイザーのリスト及びプロフィールを公開。

## 【J-FLEC認定アドバイザー(1,144名)の属性】(2025年1月7日時点)

(年代)

20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
4名 (0.3%)	56名 (4.9%)	159名 (13.9%)	366名 (32.0%)	470名 (41.1%)	89名 (7.8%)

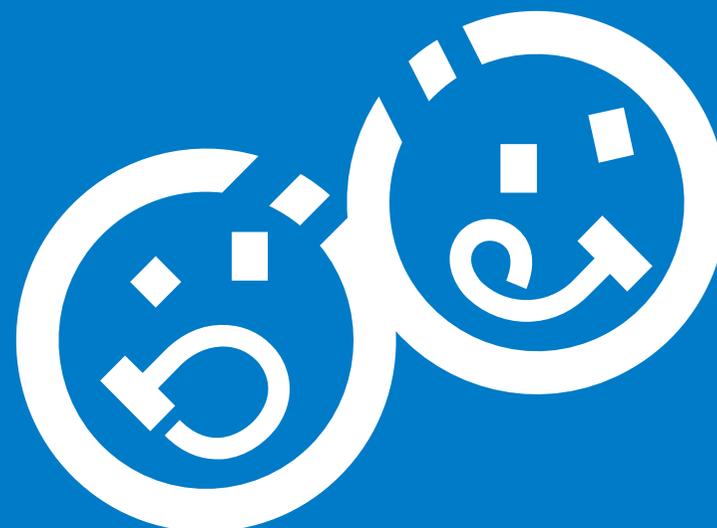
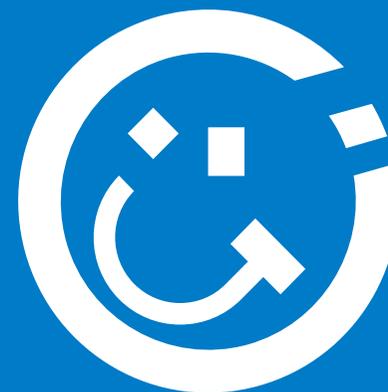
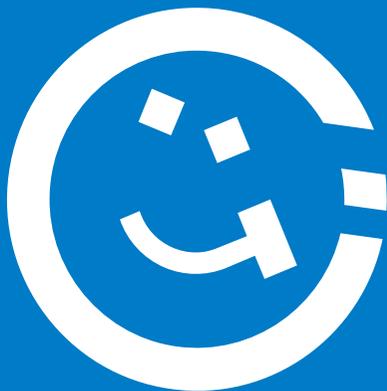
(保有資格) ※複数の資格を保有している場合は、左側のものから優先してカウント。

CFP	AFP	FP技能検定 (2級以上)	消費生活 相談員等	外務員 (1種)	士業(注)	証券 アナリスト	その他
548名 (47.9%)	237名 (20.7%)	201名 (17.6%)	43名 (3.8%)	43名 (3.8%)	48名 (4.2%)	20名 (1.7%)	4名 (0.3%)

(注)税理士、司法書士、社会保険労務士など

86.2%

# J-FLECの事業概要



1

## 講師派遣事業

- ◆ 全国の企業や学校等に、J-FLEC講師を派遣し、金融経済に関する出張授業(無料)を展開。

2

## イベント・セミナー事業

- ◆ 全国各地で、社会人の方や事業会社(経営者の方)、教員の方などを対象とした、お金に関する無料イベント・セミナーを開催。

3

## 「J-FLECはじめてのマネープラン」無料体験事業

- ◆ J-FLEC相談員(J-FLEC認定アドバイザー)による個別相談の無料体験を、J-FLECにおいて、対面またはオンラインで実施。

4

## 「J-FLECはじめてのマネープラン」割引クーポン配布事業

- ◆ クーポン対象事業者(J-FLEC認定アドバイザー)による有料の個別相談をはじめて利用する方を対象に、相談料が80%オフ(1時間あたり最大8,000円まで割引)になる電子クーポン(3時間分)を配布。

5

## 学校等への支援事業

- ◆ 金融経済教育に関する研究活動などに取り組む学校を指定し、教育研究費の助成やアドバイス提供を実施。

- ❑ 全国の企業や学校等に、所定の審査を通過したJ-FLEC講師を派遣し、金融経済に関する出張授業(無料)を実施しています。
- ❑ 講師派遣では、「金融リテラシー・マップ」に沿って、年齢層別に最低限身に付けるべき金融リテラシー(お金に関する知識・判断力)を習得いただけるような研修・授業を実施します。また、より詳しく学びたい方向けの詳細なコンテンツも提供しています。講義内容や時間については、講義テーマに応じて講師と事前調整することが可能です。

年齢層	学べる主な内容(例)
小学生	<b>「おこづかいから学ぶお金の話」</b> ・おこづかいの使い方、貯め方、お金の流れ・トラブルの事例など ※ ドリル・ゲーム・クイズなども活用した参加型形式もあり
中学生・高校生	<b>「大人になる前に知っておきたいお金の話」</b> ・収支管理の基本、お金の貯め方のコツ、資産形成と経済活動の関係性、クレジット・奨学金の仕組みと注意点、金融トラブルの防止など
大学生・若手社会人(10代~20代)	<b>「社会人として知っておきたいお金の話」</b> ・家計管理や給与明細の見方、資産形成の基本(長期・積立・分散)や支援制度(NISAなど)、社会保険と民間保険、クレジット、奨学金、金融トラブルの防止など
中堅社会人(30代~40代)	<b>「将来に向けて知っておきたいお金の話」</b> ・家計の現状把握から外部知見(お金の専門家)の活用を通じた将来設計・資産形成の考え方、社会保険と民間保険、各種ローン、金融トラブルの防止など
ベテラン社会人(50代以上)	<b>「リタイア前後に知っておきたいお金の話」</b> ・定年退職後の生活を見据えた年金などの社会保険、退職金、税金の仕組みのほか、資産寿命の延伸、贈与・相続・終活などの概要



※ 特別支援学校向け、教員向けにも研修・授業を実施します。

※ 講義資料は、J-FLEC以外の教育活動を行っている方々にも参考としていただくため、J-FLECホームページにて公開しています。

## □ 2024年11月末時点で651件の講師派遣を実施。

※講師派遣の申込受付開始(2024年8月26日)以降、J-FLECとして講師を派遣した件数。

## □ 受講者アンケートの満足度平均は4.39(5段階評価)。

※「今回の講義はいかがでしたか」に対する回答(大変よかった、よかった、どちらともいえない、いまひとつ、よくなかった)の平均。

講師派遣先	主な感想
小・中・高 大学等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少し難しそうな内容も、資料や掲示物で感覚的に理解できるよう、とても簡単に説明していただき、子どもたち一人一人が『お金』のことをしっかりと考えることができた。(申込者)</li> <li>・ 子どもたちの様子を見ながら講義を進めていただいた。グループワークの雰囲気づくりもよかった。(申込者)</li> <li>・ 生徒目線でわかりやすい例えを使っていたことが理解を深めることができ、自分で調べてみようという意欲を持たせていただいたと思う。(申込者)</li> <li>・ お金に関することは、大学生でも社会に出てからも関わってくる重要なもの。何となくわかっていた、知っていたことでも今回の講義を通してより深く知ることが出来た。(受講者)</li> </ul>
企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の資産運用を具体的に考えようと思っていたため、資産運用に関する基本的な事柄を再確認できてよかった(受講者)。</li> <li>・ 勉強するためにも自分でセミナーを申し込む必要がある中、会社で講義を受けることができてよかった(受講者)。</li> </ul>
公民館等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目から鱗が落ちる内容。早速、家族と話す機会を持ちたいと思った。(受講者)</li> <li>・ 小学生の次男のお金の使い方、どう伝えたら良いか悩んでいたのも、お金に関するお話がたくさん聞けてよかった。(受講者)</li> <li>・ 後に向けての資金について漠然としていたがもっと意識して、調べて、安心できるよう準備していきたいと思えるようになった。(受講者)</li> </ul>

- ❑ 「金融リテラシー・マップ」とは、「最低限身に付けるべき金融リテラシー」を、年齢層別に、体系的かつ具体的に記したものの。
- ❑ 2014年に、金融庁・消費者庁等の関係省庁・有識者・金融関係団体等をメンバーとする金融経済教育推進会議が公表。

【金融リテラシー・マップ(イメージ図)】

	小学生	中学生	高校生	大学生	社会人	高齢者
家計管理						
生活設計						
金融取引の基本としての素養						
金融分野共通						
保険商品						
ローン・クレジット						
資産形成商品						
外部の知見の適切な活用						

分野別・年齢層別に体系的かつ具体的に記載

【具体的な内容の例】

1. 小学生向けの内容

- 必要なもの(ニーズ)と欲しいもの(ウォンツ)を区別し、計画を立てて買い物ができる。
- 困ったときにはすぐに身近な人に相談する態度を身に付ける。

2. 高校生向けの内容

- 職業選択と生活設計を関連付けて考え、生涯の収支内容を理解して生活設計を立てる。
- お金や金融・経済の機能・役割を把握するとともに、預金、株式、債券、投資信託、保険など基本的な金融商品の内容を理解する。
- トラブルに対処できる具体的方法を学び、実際に行使できる技能を身に付ける。

3. 社会人向けの内容

- 金融商品を含む様々な販売・勧誘行為に適用される法令や制度を理解し、慎重な契約締結など、適切な対応を行うことができる。
- 金融商品の特性(流動性・安全性・収益性)とリスク管理の方法を理解する。自らの生活設計の中で、どのように資産形成をしていくかを考える。
- 金融商品を利用する際に相談等ができる適切な機関等を把握する必要があることを認識している。

(出所)金融経済教育推進会議「金融リテラシーマップ『最低限身に付けるべき金融リテラシー』の項目別・年齢層別スタンダード(2023年6月改訂版)」より作成。

- J-FLECホームページにおいて、出張授業において活用する標準講義資料を一般公開しています。
- 以下10種類の対象層別の標準講義資料をPDFで提供しています。

対象層別【一般公開】			
学校向け	小学生(低学年)	職域向け	~20代 若手層用
	小学生(中学年)		~40代 中堅層用
	小学生(高学年)		~60代 ベテラン層用
	中学生用	一般向け	高齢者用
	高校生用		
	大学生用		

- ※ 上記に加え、テーマ別コンテンツとして、公的年金・私的年金・iDeCo・NISA・資産運用・投資信託・サステナブル・民間保険(生保・損保)・金融トラブル/消費者教育(学生・社会人)・成年後見制度・贈与/相続・終活等も作成(非公開)。
- ※ 一般の利用者の方が、標準講義資料を参考にすることが可能です。  
使用時はJ-FLEC資料からの引用であることの明記、一部抜粋の禁止などの留意事項をご確認ください。

教材はこちらから閲覧・ダウンロードが可能  
<https://www.j-flec.go.jp/materials/>



- ❑ 全国各地で、社会人の方や事業会社(経営者の方)、教員の方などを対象とした、お金に関する無料イベント・セミナーを開催しています。
- ❑ 忙しくて時間がない方、遠隔地にお住まいの方にもご参加いただけるよう、イベント・セミナー会場だけでなく、オンラインによる参加やオンデマンド動画による視聴も可能としています。

## 【イベント・セミナー例】

対象層	主な内容等
社会人	<b>「社会人として身に付けておきたいお金の話」</b> ・収支管理・資産形成の基本や利用できる制度(NISA等)、社会保険と民間保険など
事業会社 (経営者)	<b>「職域における金融経済教育のメリット」</b> ・人材確保の観点からの金融経済教育の重要性、企業における取組み事例の紹介など
教員向け	<b>「基礎から知りたいお金の話」</b> ・先生自身に知っていただきたい、家計管理・資産形成などの基本とポイント <b>「生徒に伝えたいお金の話」</b> ・授業でお金について教える際のポイント、授業で使えるJ-FLEC教材の体験など
親子向け	<b>「お金の使い方・貯め方体験プログラム」</b> <b>「会社の仕組みやお金の流れを学習できるワークショップ」</b>





\だれでも学べる！/

# はじめてのマネーレッスン

第2回

資産形成に興味はあるけれど、何をどう始めればいいのか分からない…。そんな迷いを解消し、第一歩を踏み出すための講座です。将来に備え、自分で資産形成を進めるための知識を一緒に学びましょう！

**2.15** 2025 [SAT] 10:00-11:30

無料

オンラインLIVE



第2回

## 「資産形成に役立つ金融商品のいろは」

資産形成に必要な代表的な金融商品の仕組みとそのリスクについて解説し、初心者の方に是非知っていただきたい、「長期・積立・分散投資」の効果も説明します。また、昨今よく耳にする、投資関連の金融トラブルについても事例を交えて紹介します。

講師は、金融業界で豊富な経験を持つJ-FLEC認定アドバイザー。  
中立・公正な立場から、初心者にも丁寧にお伝えします。

将来にわたって安心して暮らすための、お金の知識を身につけましょう！



お申し込みは  
こちら！



## 対面・オンライン相談

- お金に関するアドバイスの価値や意義を知っていただくきっかけとするため、**J-FLEC相談員(J-FLEC認定アドバイザー)**による個別相談の無料体験を対面またはオンラインで提供しています。

- ◆ 無料体験は最大1時間で、事前予約制です。  
個人の状況に寄り添ったアドバイスを提供するため  
事前予約の際に相談したいテーマ等を記入いただきます。

(相談テーマ例)

ライフプランの立て方、家計の見直し、教育資金の準備、  
住宅ローンの借入れ、金融資産の運用、リタイアメントプラン 等

- ◆ 個別具体的な税金等の計算、個別の金融商品等に関する相談はできません。



## 電話相談

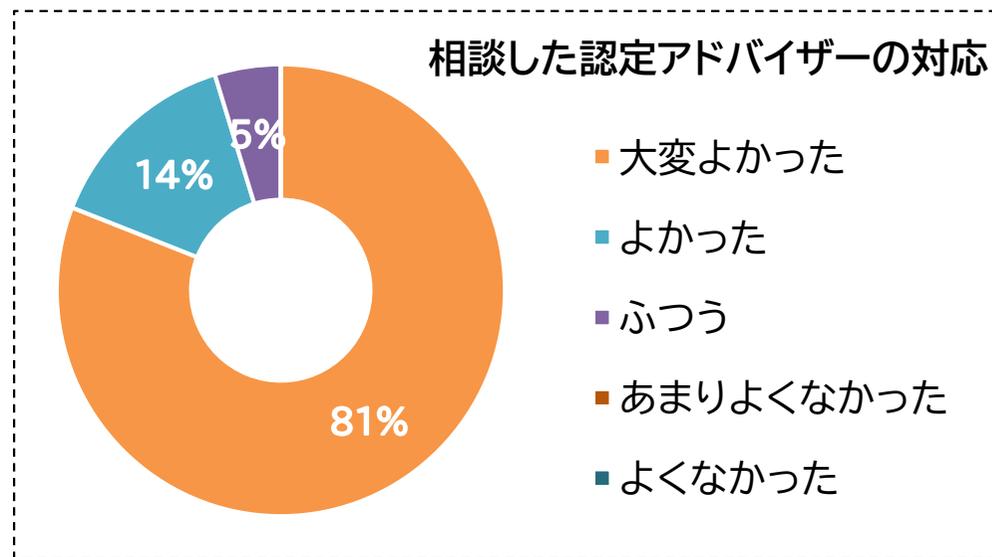
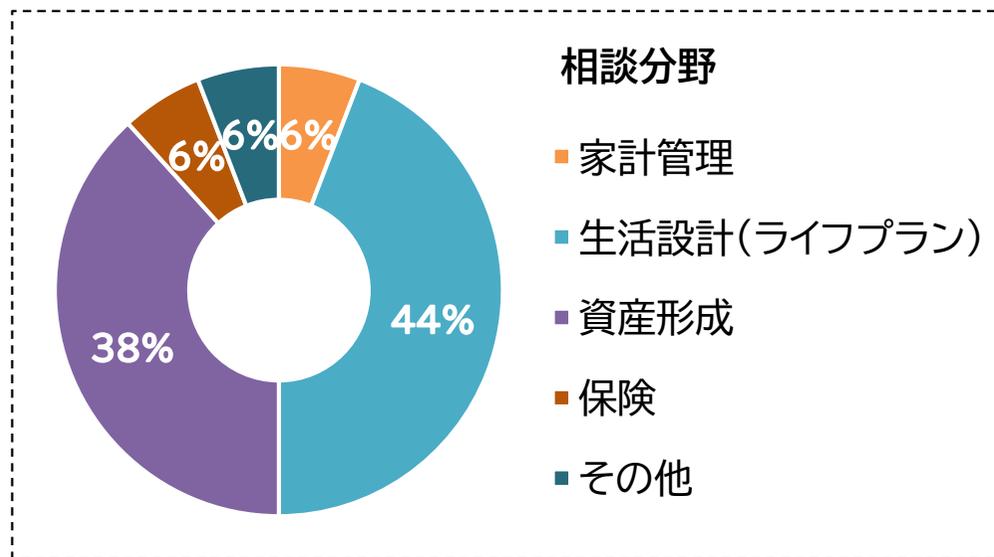
- 上記の対面・オンライン相談とあわせ、「家計管理」やNISA・iDeCo等の「資産形成支援制度」、**「金融商品・サービス」**等に関する疑問や質問について**J-FLEC相談員(J-FLEC認定アドバイザー)**が回答する電話相談窓口を設置しています。

- ◆ 電話相談は最大30分間で、事前予約は不要です。  
「家計の見直しは何から始めればいいのか?」、「NISAってどんな制度?」、「これって金融トラブル?どこに相談すればいい?」など、お気軽にご相談ください。

- ◆ 個別具体的な税金等の計算、個別の金融商品等に関する相談はできません。

## □ 相談者アンケートの満足度平均は4.76（5段階評価）。

※「今回の相談はいかがでしたか」に対する回答(大変よかった、よかった、ふつう、あまりよくなかった、よくなかった)の平均。

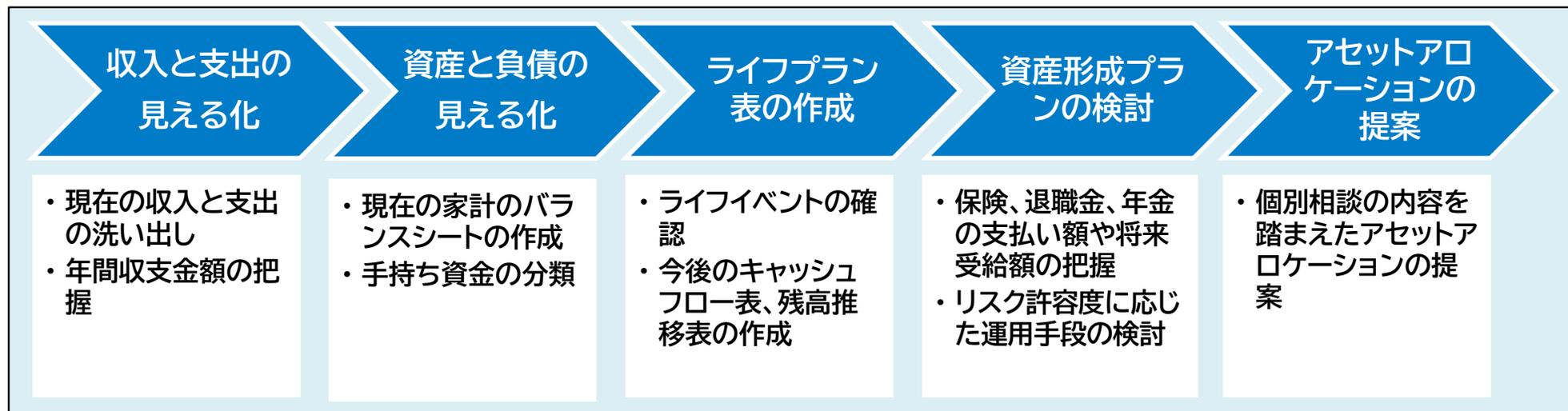


### 【主な感想】

- 特定の金融機関の担当者だと、取り扱い商品に限定した範囲においてのアドバイスになってしまうところ、今回は、自分の保有資産全体に対する考え方など大変有益なアドバイスがもらえた。
- プロのアドバイスなので信頼度が高く、また個人面談のため自身の収支等個人情報を伝えながら我が家に合った話を聞くことができ有意義だった。
- 何をやるべきかが具体的にわかった。個別の事例はなかなかネットなどでは分からないので、相談できてよかった。

- お金に関するアドバイスの価値や意義を知っていただくきっかけとするため、  
クーポン対象事業者(J-FLEC認定アドバイザー)による有料の個別相談を**はじめて利用する方を対象**  
として、**相談料が80%オフ(最大8,000円まで割引)になる電子クーポン(3時間分)**を配布しています。
  - ◆ 相談料が1時間10,000円の場合、電子クーポンの利用で自己負担が2,000円になります。
  - ◆ **3時間で収入と支出の見える化からアセットアロケーション(金融資産の種類・配分調整)の提案ま**  
**での個別相談が可能です。**
  - ◆ 電子クーポンの利用対象となる個別相談は、J-FLECが行うアドバイス実践研修を通じて、  
一定のアドバイス技能を身に付けたJ-FLEC認定アドバイザーが行うものに限定されています。

【3時間分の個別相談の内容(例)】

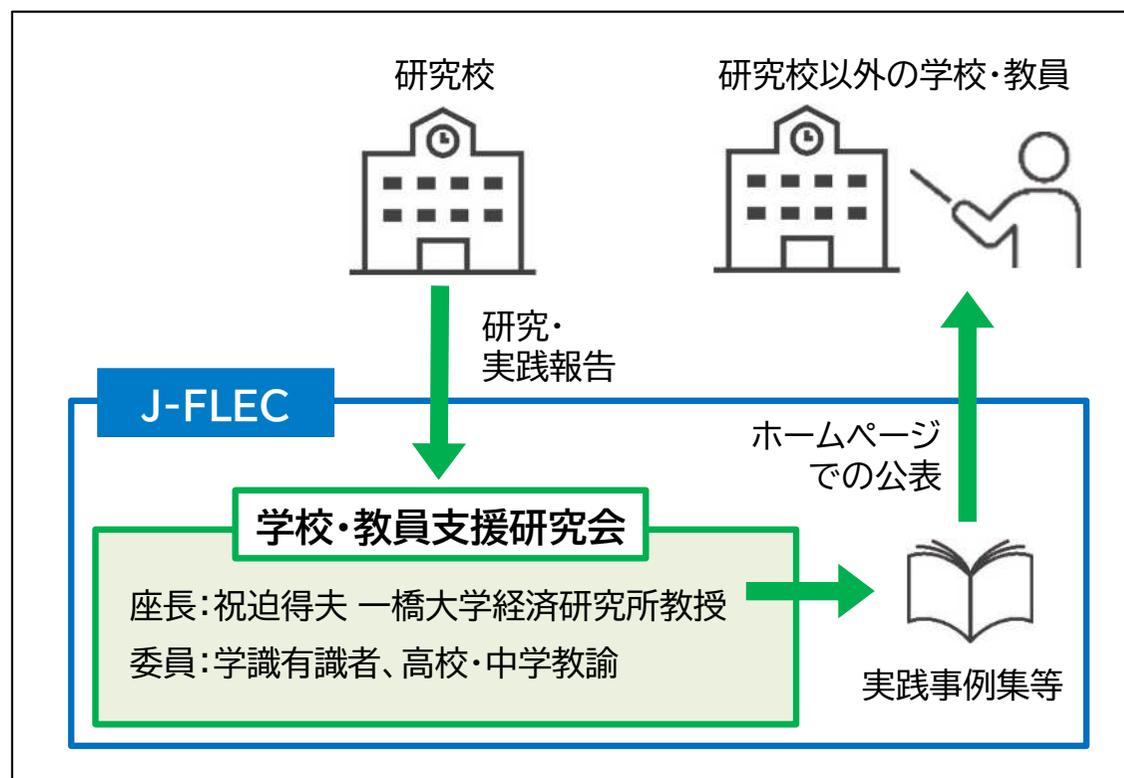


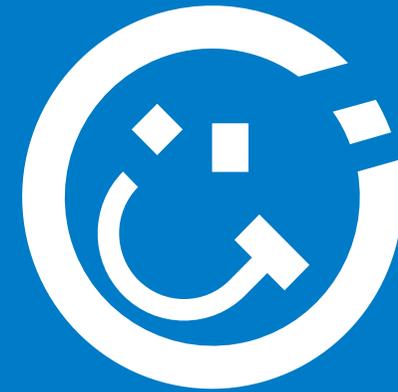
## 金融経済教育研究校制度

- 全国各地で、金融経済教育に関する研究活動や実践に積極的に取り組む学校を指定し、教育研究費の助成や研究・実践計画作成に当たってのアドバイスの提供など、さまざまなかたちで支援しています。
  - ※ 同様の活動を行う学校横断的な教員グループについても、本制度に準じた指定・支援を行います。
- 研究・実践の報告は、研究校以外の学校や教員の方々にも広く活用いただけるよう、J-FLECのホームページで公表します。

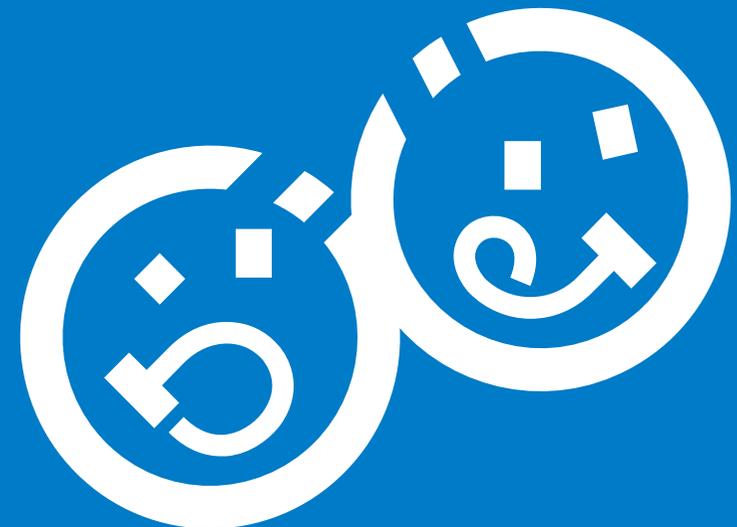
## 学校・教員支援研究会

- J-FLEC内に「学校・教育支援研究会」を設置し、以下のテーマ等を通じて、学校教育や教員の支援のあり方について検討しています。
  - ◆ 学習指導案の制作
  - ◆ 上記研究校の研究・実践報告等をもとにした実践事例集の作成
  - ◆ 金融経済教育の実態調査
- 成果物はJ-FLECのホームページで公表し、金融経済教育に取り組む学校や教員の方々にも広く活用いただけるようにします。





## 地域に根差した金融経済教育の推進



## 全国での 「学びの場」 の創出

- ✓ 講師派遣(出張授業)
- ✓ イベント・セミナー

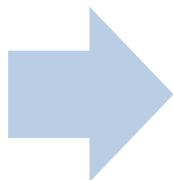
等

## 全国の 教育の担い手 の拡充

- ✓ J-FLEC認定アドバイザー

各地方・都道府県に所在するJ-FLECの関係団体<sup>(注)</sup>によるサポート

(注)各都道府県金融広報委員会、日本証券業協会地区協会、各地銀行協会、財務局等



全国津々浦々に、身近な場での、定期的な  
金融経済教育の機会を敷き詰めます

□ 全国各地で、講師派遣を実施中。

都道府県名	件数	都道府県名	件数	都道府県名	件数	都道府県名	件数
<b>北海道・東北ブロック</b>		<b>北信越ブロック</b>		<b>近畿ブロック</b>		<b>四国ブロック</b>	
北海道	18	新潟	20	滋賀	22	徳島	7
青森	2	富山	9	京都	16	香川	6
岩手	32	石川	14	大阪	25	愛媛	10
宮城	8	福井	5	兵庫	20	高知	5
秋田	4	長野	6	奈良	3	<b>九州・沖縄ブロック</b>	
山形	6	<b>中部ブロック</b>		和歌山	15	福岡	12
福島	9	岐阜	16	<b>中国ブロック</b>		佐賀	17
<b>関東ブロック</b>		静岡	2	鳥取	6	長崎	6
茨城	7	愛知	33	島根	9	熊本	4
栃木	21	三重	11	岡山	16	大分	7
群馬	8			広島	26	宮崎	6
埼玉	16			山口	8	鹿児島	4
千葉	30					沖縄	32
東京	74						
神奈川	13						
山梨	5						

合計:651件

(注)上記は、講師派遣の申込受付開始(2024年8月26日)以降、J-FLECとして講師を派遣した件数である。

- 全国各地で、多様な関係者と連携しつつ、幅広い層を対象にイベント・セミナーを実施中。
- J-FLEC本格稼働後1年以内に、47都道府県全てで少なくとも1回以上のイベント・セミナーを実施予定。

-  一般の方向け
-  学校向け
-  職域向け

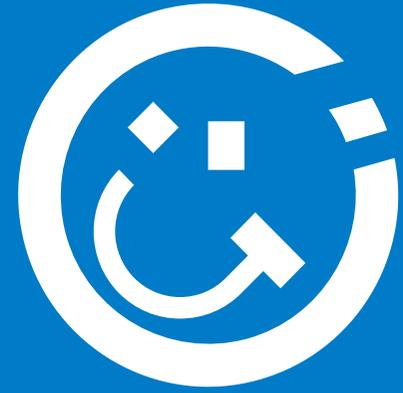


※団体名を記載していないものは、J-FLECの単独主催イベント等です。  
 ※地図上に示したものはJ-FLEC主催・共催イベント等の一部です。  
 この他に、各都道府県金融広報委員会との共催セミナーや、全国各地から参加可能なオンラインセミナー等を実施しています。

【J-FLEC認定アドバイザー(1,144名)の都道府県分布】(2025年1月7日時点)

都道府県名	人数	都道府県名	人数	都道府県名	人数	都道府県名	人数
北海道・東北ブロック		北信越ブロック		近畿ブロック		四国ブロック	
北海道	30	新潟	20	滋賀	8	徳島	8
青森	8	富山	15	京都	26	香川	13
岩手	4	石川	13	大阪	75	愛媛	11
宮城	14	福井	5	兵庫	48	高知	0
秋田	6	長野	11	奈良	18	九州・沖縄ブロック	
山形	8	中部ブロック		和歌山	8	福岡	30
福島	6	岐阜	12	中国ブロック		佐賀	13
関東ブロック		静岡	24	鳥取	6	長崎	15
茨城	16	愛知	46	島根	5	熊本	16
栃木	14	三重	8	岡山	10	大分	13
群馬	10			広島	23	宮崎	7
埼玉	59			山口	12	鹿児島	12
千葉	56					沖縄	8
東京	236						
神奈川	136						
山梨	2						

赤字:2024年12月9日時点より増加



まとめ



- ◆ 中立公正な組織として、偏りのない金融経済教育を推進
  - 家計管理・生活設計・資産形成・金融トラブル防止など広く教育
  
- ◆ 金融機関を兼業していない認定アドバイザーが教育の担い手
  - 営業を受けることが苦手な方も、安心して学べる環境
  
- ◆ 企業にも、学校にも、地域の公民館にも、広く展開
  - 誰一人取り残さない学びの場を提供

- ご紹介した講師派遣(出張授業)や標準講義資料、提供教材、イベント・セミナー情報はJ-FLECホームページからご覧いただけます。

The image shows a screenshot of the J-FLEC website homepage. At the top, there is a navigation menu with links for 'J-FLECについて', '一般の方へ', '教育関係の方へ', '事業者の方へ', 'J-FLEC認定アドバイザー', and '発表・広報'. The main content area features a large banner with the J-FLEC logo and the text 'お金の知識をあなたの力に。' (Use your financial knowledge). A central graphic promotes a quiz: 'たった5問であなたの知識をチェック!' (Check your knowledge in just 5 questions!), 'お金の知識力' (Financial knowledge), and '無料診断' (Free diagnosis). A woman in a white shirt is holding a pen and pointing at the text. To the right of the banner is a large QR code. Below the QR code is the URL <https://www.j-flec.go.jp/>.

- 本資料における記載事項は、本資料の日付時点のものであり、今後変更となる可能性があります。
- 本資料の無断転用・転載・使用を禁じます。